



なすびの花

サンクコスト効果

先日雑誌を読んでいる時に『サンクコスト効果』という文言を目にしました。

記事の内容は、登山での遭難のお話で、遭難を決定的にする際の心理状態が、描かれていました。

他の登山者が別の道を歩く姿が見え、進むべき方向を間違ってしまったことに気づいて、引き返すべきと分かってはいたが、

「ここまで来たのに……!」

という思いと、自分は大丈夫だという過信から、引き返すことをせずにそのまま進んだ結果滑落し遭難した、というお話でした。

サンクコスト効果は、この遭難のお話のように、すでに使ってしまったお金や時間や労力といった、今からどうやっても回収不可能となったコストをもったいなく感じ、結果、より多くの損失を招いてしまう心理状態のことです。この状態に陥ると、とても合理的とは思えない判断をしてしまいます。

コンコルド効果とも呼びます。

この名称の由来は、過去にフランスとイギリスで共同開発がすすめられた超音波旅客機コンコルドです。

マッハ2を超える速度を記録したこの旅客機は、開発過程で様々な問題が発生し、

途中で違約金や賠償金を支払った方が安く済んだにもかかわらず、それまでに費やした費用を惜しみ、ついには運行が開始されました。

最終的には開発会社は多大なる損失を出して倒産してしまいました。

更に本誌面でも、異常発生時の対応について、記事にしています。

「異常を認識したら、まず、生産をストップし、管理者に報告し、指示を仰ぐ」というのが基本となっています。

登山の遭難時の**サンクコスト効果**のお話を読んで、

「何かおかしい気がする……!」

と感じながら、作業を中断できない心理状態と似ている気がしました。

* **自分は大丈夫という楽観主義**

* **自己責任を感じる意識**

* **ムダにしたと思われたくない意識**

等々といった意識が働いてしまうことがあります。

もしも**サンクコスト効果**に陥ってしまったと気づいたら、最初に戻り、白紙の状態から考えを組み立てなおすことが大事です。先々に待ち受ける更なる損失を考えれば、すぐに引き返す勇気が必要ですね。

職場の労働安全衛生

一方、社内では、職場の労働安全衛生に関して気になっていることがあり、今月は、そこにスポットを当ててみました。

安全衛生とは、職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境を提供するための取り組みです。

安全衛生の目的は、健康を保ち、危険がない中で、安心して働ける環境にすることです。

安全と健康を維持するための基本的な心得があります。

職場の災害の発生は、錯覚や思い込みといった、無意識による不安全な行動が原因となることが多いです。

また、早く終えたいために、決められた手順とは違う手順で作業を行うなど、故意に手抜きをってしまった時にも、災害が起こりえます。

安全衛生の基本は、決められたルールを守ることに尽きます。

* **作業手順をしっかりと確認し、守ること。**

* **設備は、適切な管理の上、正しく使うこと。**

* **服装は、サイズの合った、指定の服装を着用すること。**

そして、**職場内は、整理整頓し、常に清潔な環境**にして、誰が見てもきれいで、どこに何が置かれているのか、分かりやすい状態であることが大切です。

サンクコスト効果と同様に、最初に戻って、自身を見つめなおしてみましよう。